



本館

御野場シャトルズ

活動日 第1・3水曜日 午前10時〜午後1時

「なんぴあ」を拠点に活動するバドミントンサークル。50代〜70代の女性13人が体力の維持、健康増進を目的に、楽しく、大好きなバドミントンに打ち込んでいます。基本を大切にしながら練習を重ね、今年で結成36年目。中には年2回行われる秋田県レディースバドミントン連盟の大会への出場、そして勝利を目標に掲げて励んでいる人もいます。新しいことを初めてみたい人、初心者大歓迎。一緒に汗を流しませんか。

サークル紹介

組の取材を受けました。8月17日(水)19時55分〜20時54分に会の活動状況とともに紹介される予定です。是非、視聴ください。会員同士の親睦も図りながら、今後も別館を拠点に活動を続けます。興味のある方、一緒にいかがですか。

南部地域づくり協議会の令和4年度第1回理事会在5月26日、南部市民サービスセンターで開かれました。3年度決算を承認したほか、3人の常任理事・理事が退任、新たに3人が加わったことに伴う役割分担なども承認しました。また、4月に着任した南部市民サービスセンターの三浦まゆみ所長、阿部公能副所長を紹介。4年度の登録サークル数が本館は57別館が70になったことなどが報告されました。

決算、役割分担など承認
南部地域づくり協議会理事会



令和4年度 南部地域づくり協議会理事・監事一覧

役職	氏名	地区	担当
会長	佐藤 義明	御野場	総括
副会長	川村 良喜	四ツ小屋	総務
副会長	千田 典夫	牛島	広報・企画
常任理事	工藤 等	上北手	まちづくり
常任理事	進藤 征喜	大住	企画委員長
常任理事	杉山 徳美	御所野	まちづくり
常任理事	相場 隆	仁井田	まちづくり
理事	鈴木 久美	牛島	広報委員長、まちづくり
理事	高橋 信好	牛島	企画、まつり委員長
理事	佐藤 修	御所野	企画
理事	佐々木 治	御所野	広報
理事	大縄 聖	御野場	まちづくり
理事	植村 和夫	御野場	まつり
理事	新田 宏光	四ツ小屋	広報
理事	榎 昌範	四ツ小屋	企画、まちづくり委員長
理事	鎌田 悦雄	上北手	企画
理事	浅利 吉晴	上北手	まつり
理事	鈴木 兼夫	仁井田	広報
理事	新田 英明	仁井田	まつり
理事	戸嶋 元美	大住	まちづくり
理事	吉成 勉	大住	広報
理事	三浦 喜夫	市民憲章	まちづくり
理事	高橋 次男	体協	企画
理事	平塚 和博	子育て支援	広報
理事	伊藤 榮二	サークル	まつり実行委員長
監事	酒田 静雄	上北手	
監事	平野 貢則	大住	

別館

秋田南部短歌会

活動日 第2火曜日 午後1時〜午後4時

南部地区の短歌愛好者10人で組織するサークル。歴史は古く、発足から今年で27年を迎えました。活動日は月1回ですが、毎回、二首を短歌会で発表、会員同士で評価し合うとともに、主宰する三浦貴智介氏の指導を仰ぎながら短歌力の向上を図っています。これまでに秋田南部短歌会合同歌集を第3集まで発刊しました。



編集後記

さまざまなイベントが行われるようになってきました。ここ2年は開催が難しい状況にありましたので、当協議会の活動も今年度こそはと願っているところです。そうした中、南部エリアに目を向けると、各地域がそれぞれ対策を講じて多種多様な活動を展開しています。例えば、四ツ小屋駅前での環境美化活動や地域の各種総会を見直した取り組みや地域の伝統に触れるイベントや地域と学生による触れ合いなどです。第16号の発行にあたり、こうした各地域の取り組みをご寄稿いただいた皆様に感謝申し上げます。(広報委員長 鈴木久美)

**—61サークル93人—
本館、別館で清掃活動**

日ごろ自分たちがサークル活動で利用している施設をきれいにしようと、「なんぴあサークル連合会」(伊藤榮二会長)主催の「春の清掃活動」が令和4年6月5日(日)に行われました。参加したのは、いずれも本館、別館の登録サークル会員。本館には26サークル47人、別館には35サークル46人が訪れ、1時間半ほどかけて、自分たちが利用する部屋を丁寧に清掃しました。また、花壇の草取りを含め、施設周辺の美化に汗を流した人たちもいました。伊藤会長は「会員が日ごろの感謝を込めて、丁寧に清掃してくれたことに感謝です」と話していました。



今年こそ明るい年に

南部地域づくり協議会
会長 佐藤 義明

ロシアのウクライナ侵攻、そして長期化による世界の食糧危機など、連日のように世界を揺るがすニュースが流れています。一方、コロナの新規感染者数が減少し、少しずつ日常を取り戻しつつありますが、こうしたニュースに慣れてしまうことこそ恐ろしいことだとあらためて思い返しているところでもあります。

さて、「なんぴあ」では新しい所長を迎え、これからの活動について協議を重ねています。「コロナに負けるな」の合い言葉のもと、予定された事業は万全の対策を講じたうえで、すべてやろうとの思いです。

その一つに南部地域選出の市議会議員のみなさまとの定期的な懇談会が挙げられます。地域の課題解決に向けて声を掛けさせていただいたところ、前向きにやろうと賛同を得、去る4月27日に第1回目を開催しました。今後、地域活動をする私たちと、地域から選出され市政を動かしていく議員団が本音で語り合う場にしたいと思っております。

南部地域のみなさまが明るく元気に暮らしていただける1年となるよう祈念しつつ「なんぴあだより」第16号発刊にあたっての挨拶とさせていただきます。



就任あいさつ

南部市民サービスセンター
所長 三浦 まゆみ

南部地域の皆様、初めまして。この4月に所長となりました三浦と申します。この3カ月間、地域で活躍されている方々との新しい出会いや地域行事への参加など、新鮮で刺激に満ちた毎日をお過ごしています。

私は、牛島で生まれ5歳まで住んでいましたので、この南部地域は親しみのある大好きな土地です。車で旅行に出かける時にワクワクしながら通り抜けていた国道13号線は、今や私の通勤路となり、昼休みに散歩すると広がる田園風景や緑濃い太平山の山並みが、清涼感と活力をもたらしてくれます。この南部地域は、移住定住の受け皿としても大変魅力的な地域であると感じています。

長かった新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せ始め、以前のような日常を取り戻す動きが進んでいますが、アフターコロナの時代においては、町内会活動など地域の連携のあり方やニーズも多様化していくことが予想されます。今後は、ますます地域の皆様や企業、行政が力をあわせながら地域課題に取り組んでいくことが大切になると思います。

そのために、地域の皆様と情報を共有し対話を重ねながら、より住みやすい南部地域となるよう務めてまいりますので、皆様方のお力添えをお願いします。

南部議員団／南部地域づくり協議会 地域課題解決へ懇談会

南部地域(牛島、大住、上北手、仁井田、四ツ小屋、御野場、御所野の7地区)在住の市議会議員6人と南部地域づくり協議会の役員による「南部議員団との懇談会」を4月27日、南部市民サービスセンターで行いました。南部地域が抱える課題解決に向けて意見交換し、住みよい地域づくりを進めようというもので、初めての開催でした。

懇談会では通学路である牛島車両基地跨線橋の拡幅や、小学校・中学校の学校適正配置の問題、古川の治水対策など、さまざまな課題が提起されました。出席者からは行政や関係機関などの対応や取り組みなどについての説明もあり、いろいろな視点から情報共有しました。

協議会の佐藤義明会長は「抱える問題は多彩だが、南部議員団と連携し年2回、定例会として開催し、前に進めたい」、南部議員団の伊藤一榮会長は「それぞれの地域の振興会や町内会長会からさまざまな要望を聞いている。情報共有・連携し、議員団としても大きな視野で、南部全体の課題ととらえ解決していきたい」などと話していました。

今後、現地視察、関係機関への要望書、陳情書の提出などについても検討することとしています。



上北手地区

上北手地区振興会
副会長 工藤 等

各種総会、「集中開催方式」に転換



集中開催日の総会風景（遊学舎）

一人で何役もこなしている町内会長や各種団体・法人の代表の方々の負担軽減を少しでも図りたい。こんな思いから上北手地区は今年度から、上北手地区振興会と専門部各団体の総会を、同一日に、時間を少しずつ

ずらして一気に開催するという新たな試みを始めました。開催日は令和4年4月24日（日）、会場は遊学舎です。

当日は午前9時50分からの「合同総会等の開会式」でスタート。タイムスケジュールは以下の通りでした。

- 10時～上北手地区体育協会代議員会
- 11時～上北手地区市民憲章推進協議会総会
- 13時10分～上北手地区社会福祉協議会評議員会
- 14時10分～上北手地区振興会代議員会
- 15時10分～合同総会等閉会式

各団体長ならびに法人の方々は、関係のある代議員会等に出席。また、各町内会長等も例年は分散して出席していた代議員会等に参加。この日だけですべての会議を開催することができ、負担軽減が図られたと思います。

今回の方式は、3年前から複数の代議員会に名前を連ねている人が多かったことから、上北手地区振興会事務局が中心となり、防犯・交通安全評議会の一本化、各理事会を同一日に開催するなどの組織運営の簡素化も図って実現しました。他の地区でも参考になればと思います。

御野場地区

御野場連合町内会
会長 大縄 聖

きずなの森造成事業

御野場連合町内会では毎年10月、秋田市河辺神内の山林で「きずなの森造成事業」を行っています。森林の有する多面的機能の理解を深めること、里山を維持する作業体験を行って心身のリフレッシュを図ること、そして会員相互の親睦を図ることを目的としています。



この事業は秋田県緑化推進委員会の市民グループ森林づくり活動支援事業の助成金を活用、広く参加者を募って実施しています。作業内容は①植栽地の下刈り②不要木の除去③遊歩道の補修④なめこの植菌などで、作業中に思いがけず、キノコの群生に出くわすこともあります。

また、お昼には豚汁、きりたんぼ、なめこ汁など、毎年違った温かい鍋物が振る舞われ、その味も楽しみの一つになっています。

帰りには椎茸の菌床を参加者全員にプレゼント。町内に帰ってからは反省会と称し、作業で火照った身体に冷たいビールを流し込みます。文字通り、帰ってからも「きずな一」を深めています。

「広報あきた」でも参加者募集のお知らせを掲載しますので、皆さん奮ってご参加下さい。

牛島地区

日赤看護大ウォークと健康教室

学生と地域の人たちが交流する『日赤看護大ウォークと健康教室』が5月26日（木）、日本赤十字秋田看護大学（上北手）とその周辺エリアで開かれました。「まちを健康で明るくする皆の会」の催しとして企画、日本赤十字秋田看護大学看護学部

の萩原智代先生の協力で実現したものです。内容は大きく分けて二つ。一つは大学周辺でのウォーキング。これは学生たちは地域を知るといこと、地域の方々は「かみの里」「かがやきの丘」を訪問するという目的でした。その後、看護大学の教授に「弁当箱ダイエット法」の講義をしていただきました。カロリーや栄養バランスなどについて幅広く学ぶ機会になりました。

「まちを健康で明るくする皆の会」は牛島地区を拠点に幅広く活動している団体です。今回の企画は学生さんのみならず、参加された地域の方前から1・2列が地域の参加者、3列から大学1年生たちの知見が広がった有意義なイベントになったのではないかと思います。これを機に、これからも地域交流、そして学生さんたちとの交流を深めていけたらと願っています。

まちを健康で明るくする皆の会
事務局 谷地田 華奈子



前から1・2列が地域の参加者、3列から大学1年生

地域のために活用を
「地域づくり交付金」

7-8月に2次募集

秋田市は平成23年度から地域の課題解決や地域力向上などに取り組む公益的な活動を支援しています。「地域づくり交付金」制度で、市内全体ではこれまでに600件超の事業に交付金が活用されています。

南部地域ではこれまでに101件の交付実績がありますが、令和に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、昨年度は5件、本年度は2件の応募にとどまりました。南部市民サービスセンターは7月19日～8月5日まで二次募集を行います。地区防災避難訓練の実施、地域世代間交流イベントの開催、地域住民で身近な史跡を巡った記録誌作成など、地域の課題解決や地域の連携促進、地域力の向上、地域の魅力アップなどに向け、地域づくり交付金を活用してみたいかですか。応募の詳細は南部市民サービスセンター地域支援担当（電話838-1213）へ。

【交付対象】町内会や地区振興会など、地域に密着した活動を行う団体。

【交付金額】事業1件につき5万円以上50万円以下。同一事業については、1年目から3年目までは交付対象経費の全額。4年目は交付対象経費の3分の2。5年目は交付対象経費の3分の1。

【3年度対象事業】▽大住地区住民の活性化と高齢者及び障害者の心身健康増進事業▽大住学区体育協会創立40周年記念事業▽牛島西四丁目高齢者「狐森サロン」開設事業▽大住団地町内会の課題解決（防犯）▽地域元気づくりファーマーズマーケット交流事業

【4年度対象事業】▽上北手地区体育協会創立50周年記念事業▽地域元気づくりファーマーズマーケット交流事業

南部地域の地域づくり交付金事業

※過去5年の実績

		件数	交付決定金額(円)
平成	29年度	7	2,848,000
	30年度	8	2,406,000
	31年度(令和1年度)	9	3,112,000
令和	2年度	4	1,219,000
	3年度	5	1,435,000



大住地区の心身健康増進事業



ポッチャの道具

仁井田地区

仁井田地区振興会
副会長 鈴木 兼夫

4年ぶりに「あきた大落まつり」開催

第23回「あきた大落まつり」が6月11日（土）、仁井田地区コミュニティセンター敷地内で開かれました。大落まつりは毎年この時期に行われていますが、同コミセンの建設工事と新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止が続き、4年ぶりの開催となりました。

今年は仁井田小学校の児童24人が参加。仁井田地区振興会のメンバーが鎌の使い方を指導した後、児童たちは背丈以上に成長したフキを次々に刈り取りました。また、仁井田伝統芸能保存会の指導を受けた児童とおおぞらこども園の職員ら総勢50人が、地区に伝わる「ふきっこ唄」や「仁井田節」の手踊りを舞姿で披露、「あきた大落まつり」を大いに盛り上げました。

秋田路は仁井田地区の特産として知られ、仁井田地区のコミュニティの拠点だった旧中央会館当時から、仁井田地区振興会が中心となって敷地内で栽培していました。地域のふれあい活動の一端を担う落畑は、令和2年6月に開設された仁井田地区コミュニティセンターの玄関側と裏手に2カ所設けられ、振興会が管理しています。コロナの影響が続いていたことから、仁井田コミセンで「あきた大落まつり」が開かれるのは今回が初めてということになります。



四ツ小屋地区

四ツ小屋地区振興会
副会長 新田 宏光

四ツ小屋駅前に花のプランター設置

「地域環境活動」の一環として四ツ小屋地区振興会は毎年、四ツ小屋駅前を彩ろうと花のプランターの設置を続けています。今年は6月19日（日）に実施。駅の利用者に迷惑をかけないようにと、会員が早朝（6時）に集合、作業を行いました。

当日はまず、プランターに市販の専用土を入れ、地元の農家から仕入れた6種ほどの花の苗を手際よく定植。出来上がったプランターは駅舎前とトイレ前に並べて設置し、水やりをして作業を終えました。それぞれの花はまだ小さいものの、これからどんどん大きくなり、色とりどりの花が駅前を明るく、華やかな雰囲気になると期待しています。

また、今回も定植作業と同時に集まった20人ほどの会員が、持参した草刈り機で四ツ小屋小学校近くの空港道路の一部の除草作業を実施し、地域の環境美化に貢献しました。



【南部地域づくり協議会】

〒010-1424 秋田市御野場一丁目5番1号
電話 018-838-1211
FAX 018-829-5311



別館

〒010-0062 秋田市牛島東六丁目4番5号
電話 018-853-5727
FAX 018-853-5728